

四国ブロック地球温暖化対策事例紹介セミナー 質問事項

発表自治体	質問	回答
内子町	<p>監査をする町民等は監査員等の特別な資格を持った人か。</p>	<p>特にないが、中には、事業所でISOに取り組んだことのある人やLAS-Eの規格制定に取り組んでいた人がいる。広報で募集した人達もいる。</p>
	<p>最後の課題3の「環境基本計画の目標設定が適正かどうか判断するためにも、監査員のレベルアップが必要。」とあるが、目標設定は難しいと思うが、これは、数値か項目か。</p>	<p>数値と項目の両面ある。計画シートを作成していく時に、目標やスケジュールを記載する場所があり、どういった目標を設定するのが良いのかどうか。違う視点の方が良いのかどうか。役所で考えている所があるので、適切かどうかという部分もある。町民、あるいは監査チームから見ると違った評価があるのではないかと。という悩ましいところがある。</p>
松山市	<p>来年から電気事業者による再生可能エネルギーの全量買い取り制度が始まるが、グリーン電力はどうなるのか。</p>	<p>全量買取制度がまだ不明瞭であるため詳しくは分からないが、今は、市有施設と一部のモニターでの取り組みであるため、支障ないのではないかと考えている。売電して収益を目的にしているわけではなく、太陽光発電の普及が目的である。また、子供達に環境に優しいということ、経済を学習するのによい機会だと考えている。今年、来年で検討していきたい。</p>
	<p>温室効果ガス削減効果についてはどうか。</p>	<p>これまでに市内に導入された太陽光発電システムは出力ベースで累計2万kWを超え、支出した補助金額は12億円を超えている。温室効果ガスの削減効果は年間で約8,000tであるが、太陽光発電の導入のみでCO2を大きく減らしていくのは難しい。ただ、松山で最も有効な再生可能エネルギーであり、地域特性を活かした取り組みとして、地域に浸透しやすい温暖化対策の1つと考えている。</p>
	<p>コンパクトシティというと、松山市は、市電とか坊ちゃん電車とか、袴を着た女性が道案内をしているとか、市内を歩いていると楽しいが、これは、市が企画しているのか、第三セクター等が運営しているのか。</p>	<p>市が行っている。愛媛県の中村知事が松山市長であった頃、「坂の上の雲」のまちづくりとして観光に力を入れていた。そのお蔭で、修学旅行で訪れる学校の数が2,3校だったのが30校に増えた。</p>

発表自治体	質問	回答
梶原町	建築家の隈研吾氏の設計だとすると、かなり設計費がかかると思われるが、著名人という方針があったのか。	確かに設計費用は高いが、隈氏が教鞭をとっている慶応大学の研究の一つとして共同プロジェクトで取り組んでいるので、通常よりはリーズナブルとなっている。木材を使うことで環境に配慮しているということに重点をおいている。
	隈氏の出身地か何か縁があるのか。	高知県の橋本知事が隈氏と仲が良かったというご縁である。隈氏自身、バブル期でRC構造ばかりをやっていた行き詰まりを感じていたところで、木材に出会い、木造建築を見直した。丁度、木材への回帰という研究材料にもなった。木材を利用する事で、CO2の固定化、カーボンの吸収といった取組に適している。木材は、断熱効果があり、冷暖房の省エネにもなる。
	工業都市である本市においては、産業部門からの排出推計量が全体の80%を超える。民生、運輸部門等は行政からの施策で働きかけできるが、産業部門に関する削減にこの市のレベルで着手しているところはある	当町は協規模な自治体であるため、該当する事業を実施しておりません。
国土交通省	このガイドラインを利用して、国から補助金等のメリットがあるのか。	この取組を始めて1年程度であり、特に補助金制度には直結していない。